

秋田県の糖尿病重症化 予防の取組について



めざせ健康寿命日本一!

秋田県健康福祉部
健康づくり推進課

- 1 糖尿病の現状
- 2 特定健診・特定保健指導の実施状況
- 3 国の動向
- 4 秋田県の課題と取組
- 5 秋田県糖尿病重症化予防モデルプログラム

1 糖尿病の現状

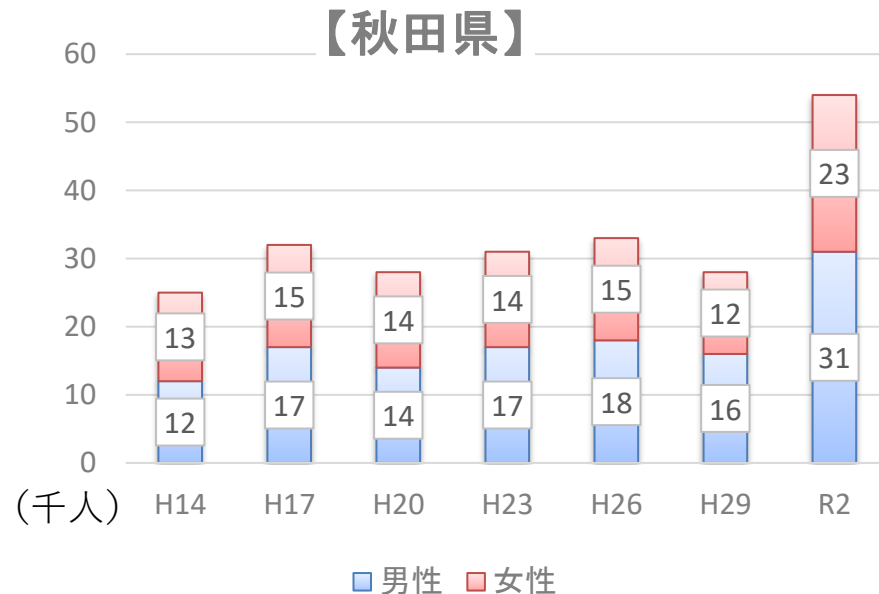


めざせ健康寿命日本一!

糖尿病患者数



めざせ健康寿命日本一!



○参考：新推計による糖尿病患者数（全国）

	H23	H26	H29	R2
患者数（千人）	4,468	5,278	5,649	5,791

※糖尿病を主な傷病として継続的に治療を受けている患者数 出典：厚生労働省「患者調査」⁴

(参考)

糖尿病患者数の算定方法



- ◆ 令和2年調査から、総患者数の算定に使用される「平均診療間隔」の算定上限が変更され、算定されるデータが増加した。

	従来の調査	令和2年調査から
平均診療間隔の算定上限	31日以上を除外	99日以上を除外

- 総患者数 = 推計入院患者数 + 推計初診外来患者数 + (推計再来外来患者数 × 平均診療間隔 ※ × 調整係数 (6/7))

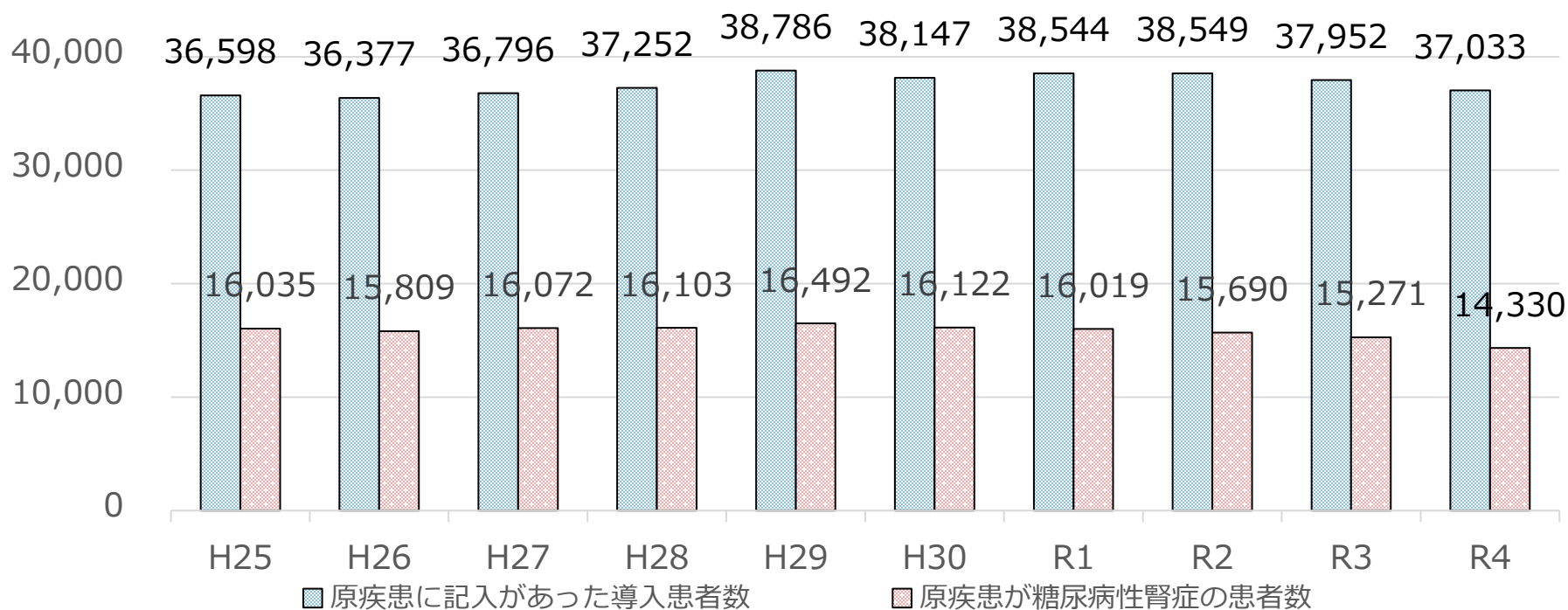
※診療間隔：外来の再来患者の前回診療日から調査日までの日数

新規透析導入患者数（全国）



めざせ健康寿命日本一！

50,000（人）



出典：日本透析医学会（患者調査票による集計）

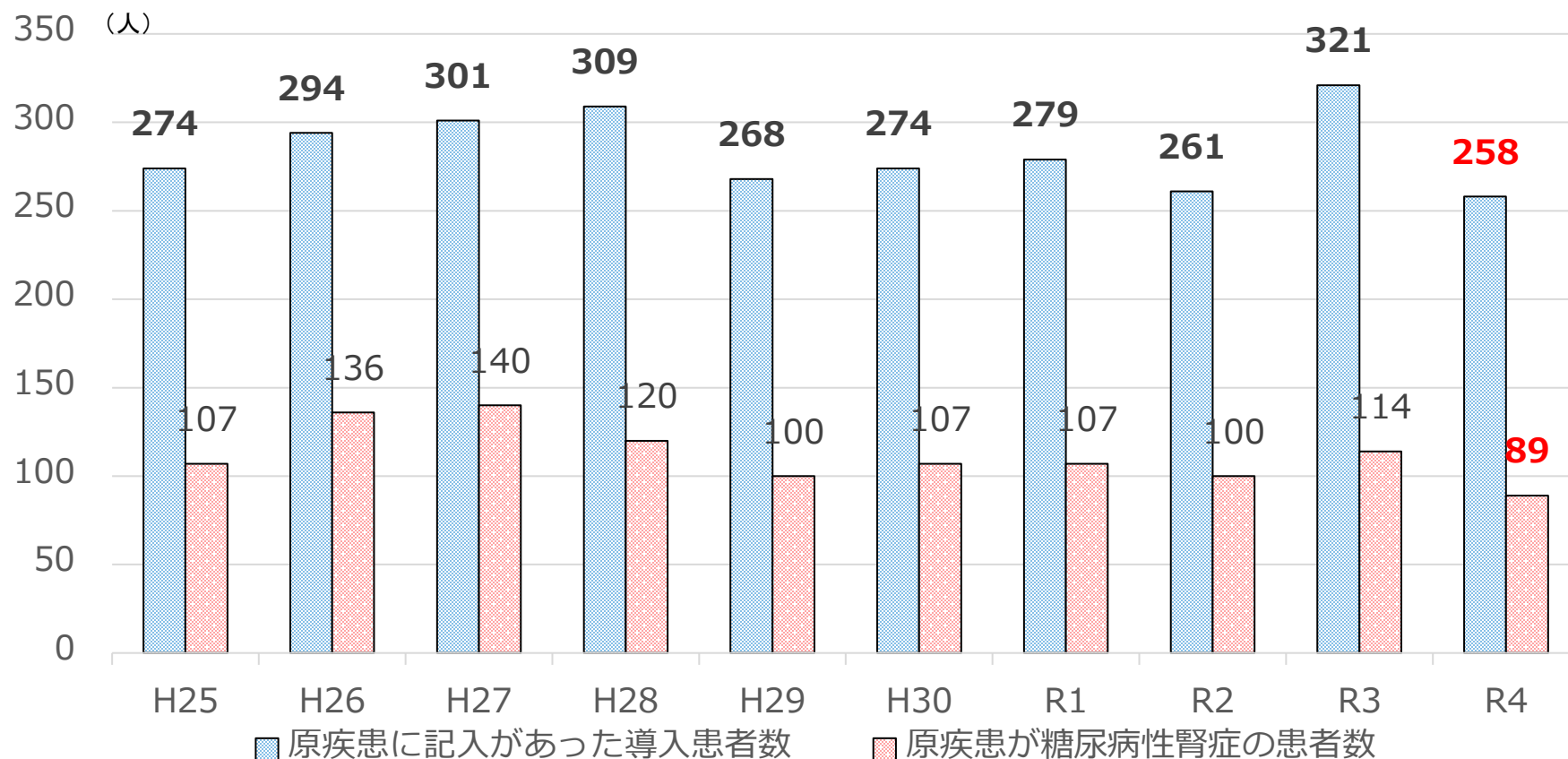
【健康日本21（第三次）の目標】

糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少→現状：横ばい

新規透析導入患者数（秋田県）



めざせ健康寿命日本一！



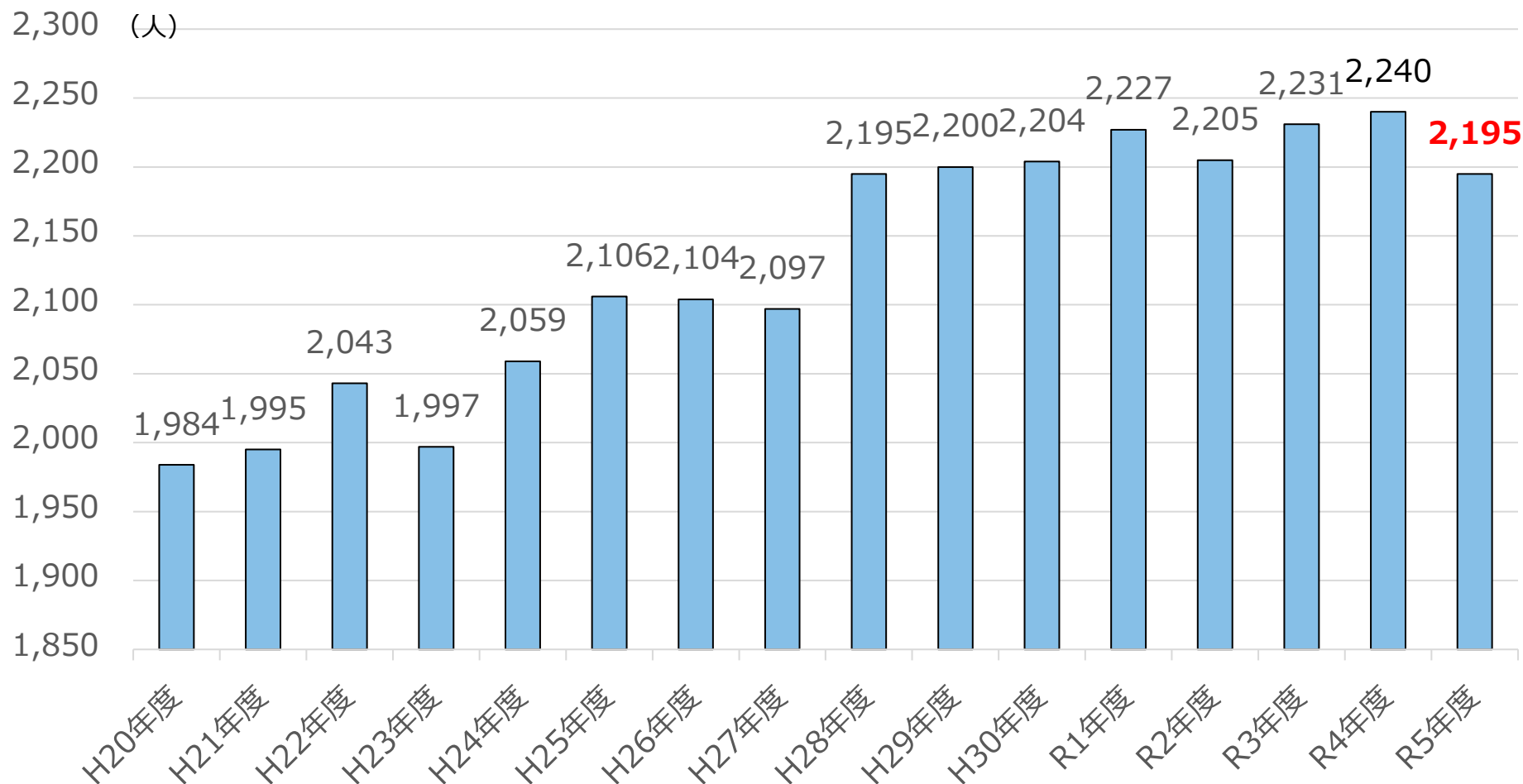
出典：日本透析医学会（患者調査票による集計）

糖尿病性腎症による新規透析導入患者数：ほぼ横ばい

透析患者数（秋田県）



めざせ健康寿命日本一！



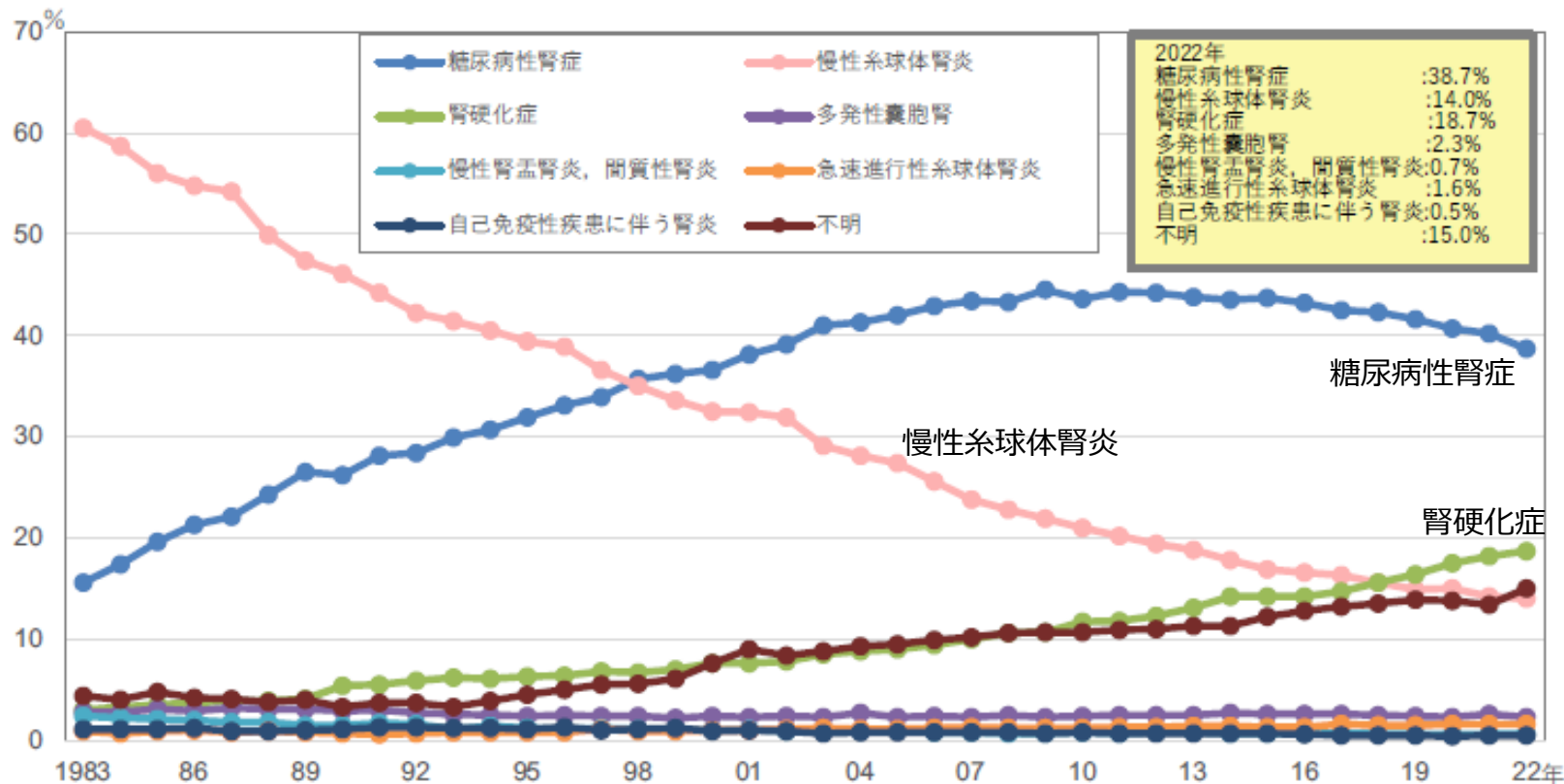
※県外からの透析患者数を含む

出典：秋田県医務薬事課調べ

透析導入患者の 原疾患割合の推移（全国）



めざせ健康寿命日本一！



（一般社団法人 日本透析医学会 「わが国の慢性透析療法の現況」⁵の患者動態調査による集計）

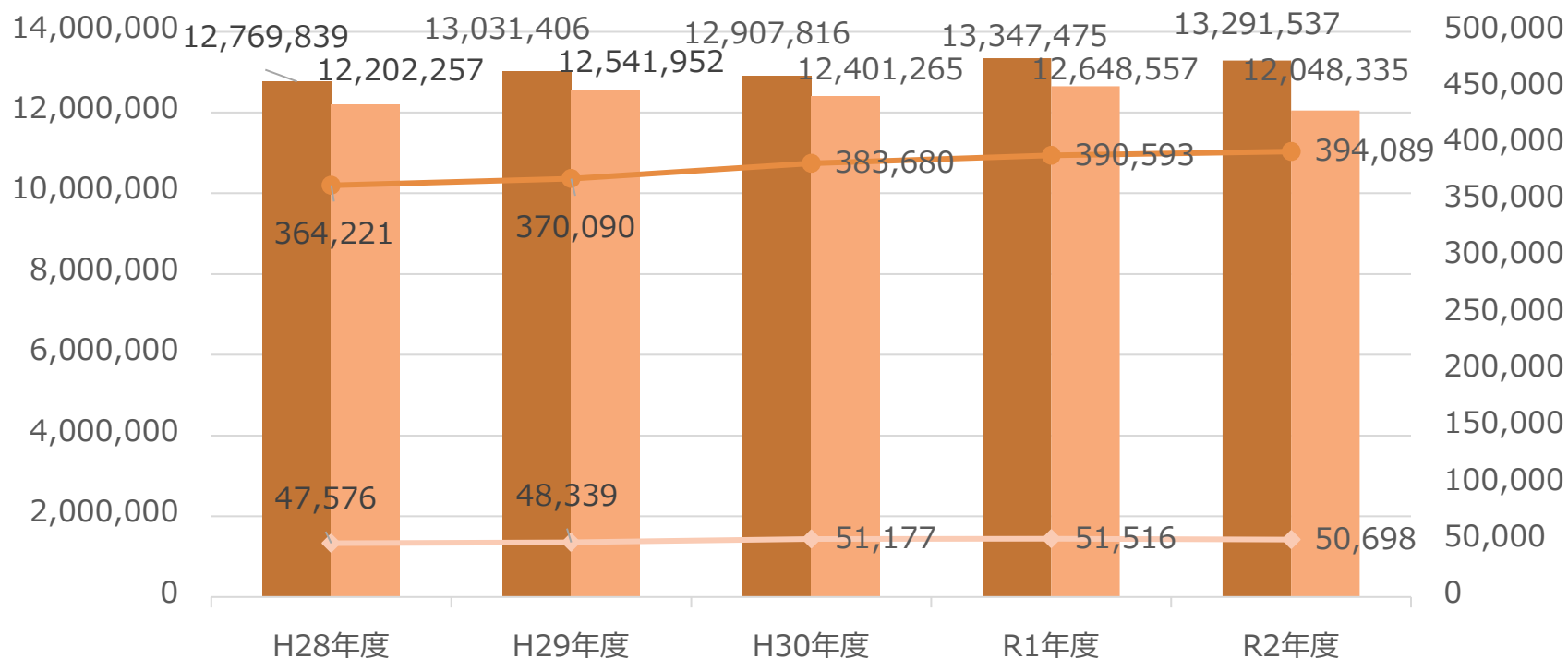
出典：厚生労働省「糖尿病性腎症重症化予防プログラム（R6.3.28改定）」

糖尿病、腎不全の医療費及びレセプト件数（秋田県）



めざせ健康寿命日本一！

（医療費単位：千円、レセプト件数単位：件）



糖尿病医療費
 腎不全医療費
 糖尿病レセプト件数
 腎不全レセプト件数

出典：秋田県健康づくり支援資料集（市町村国保、協会けんぽ、後期高齢者医療広域連合より提供いただいたレセプトデータより）

※疾病別医療費の集計は、レセプトの「主傷病」により集計。ただし、複数の主病名がある場合や、傷病データの無いデータ、調剤レセプトで医療レセプトと紐付けできないデータ等もある。

糖尿病・腎不全による粗死亡率



めざせ健康寿命日本一!

○糖尿病

死亡数：人、死亡率：人口10万人当たり

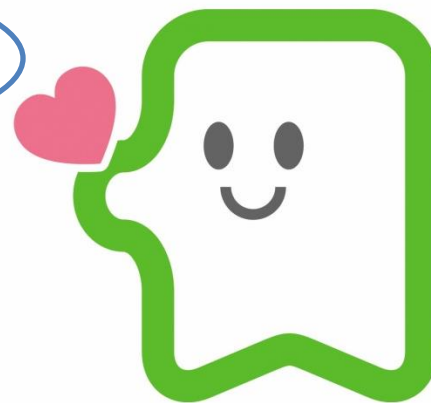
		R4年	R5年
秋田県	死亡数	183	163
	死亡率	19.8 (2位)	17.9 (8位)
全 国	死亡数	15,927	15,436
	死亡率	13.1	12.7

○腎不全

		R4年	R5年
秋田県	死亡数	339	331
	死亡率	36.6 (6位)	36.4 (5位)
全 国	死亡数	30,739	30,203
	死亡率	25.2	24.9

2 特定健診・特定保健指導の 実施状況

自分の健康状態を知る



めざせ健康寿命日本一!

特定健康診査・特定保健指導



めざせ健康寿命日本一!

特定健康診査（特定健診）	特定保健指導
・メタボリックシンドームに着目した健診（腹囲測定、血圧、血糖、脂質検査など） ・対象者：40歳～74歳	特定健診の結果、生活習慣の改善が必要と判断された場合、専門職（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートを行う。



- ・ 医療機関を受診中であっても、健康づくりの観点から経時的に受診することが望ましい。
- ・ 市町村等が行う糖尿病重症化予防事業においても、特定健診のデータがあれば、対象者の適切な抽出が可能となる。

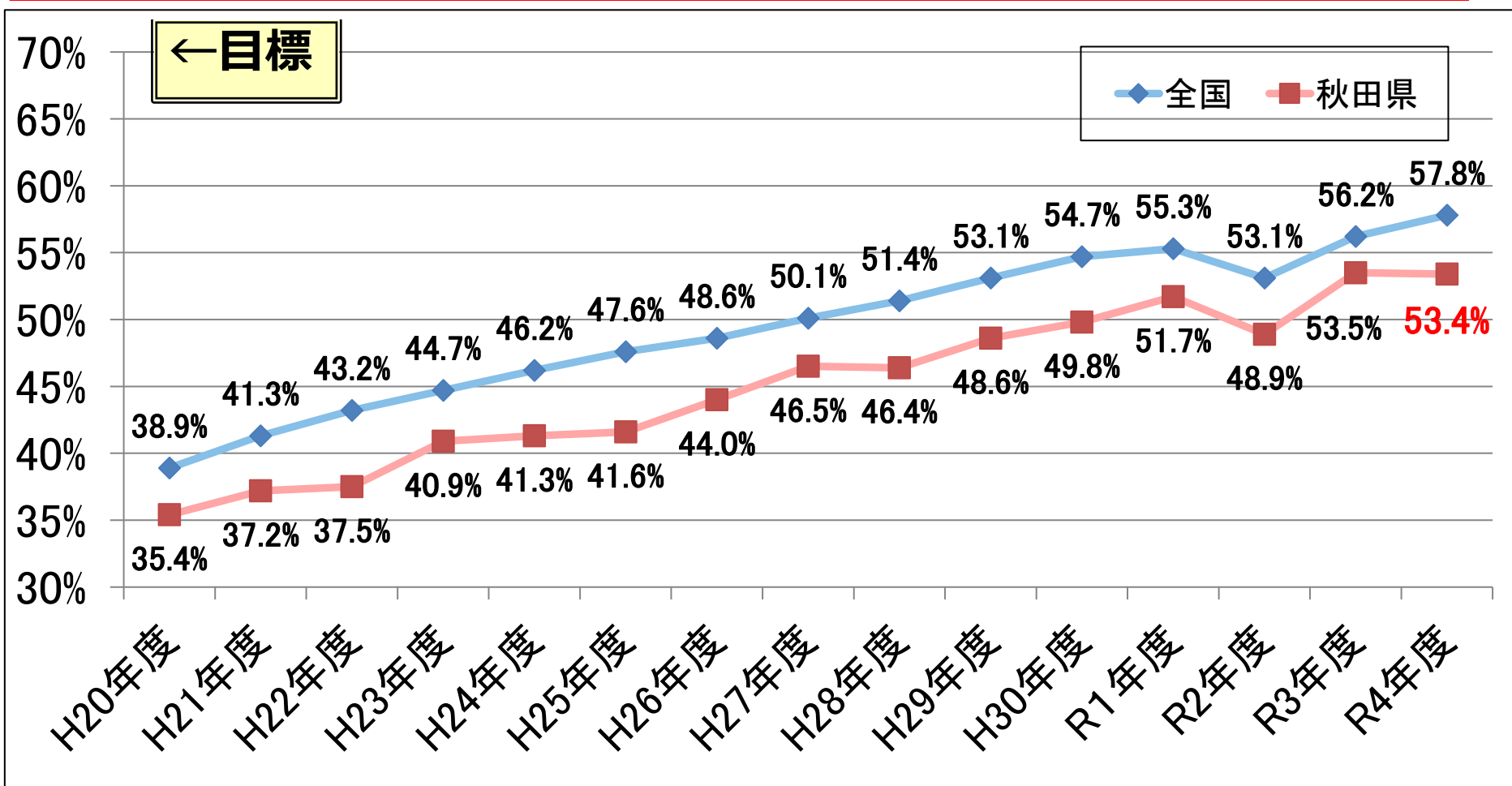


健診受診率の向上が重要

特定健診実施率（H20年度～）



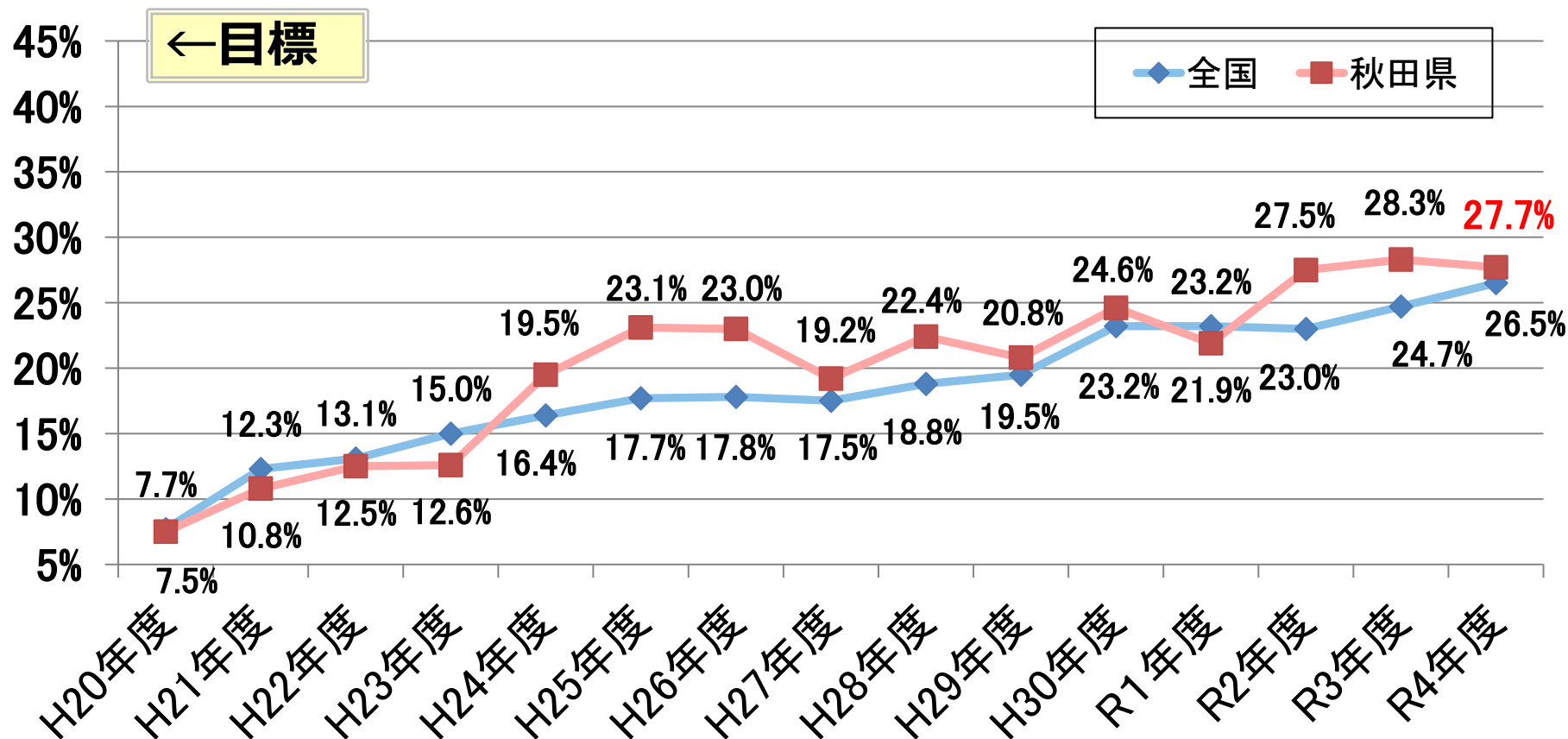
めざせ健康寿命日本一！



特定保健指導実施率(H20年度～)



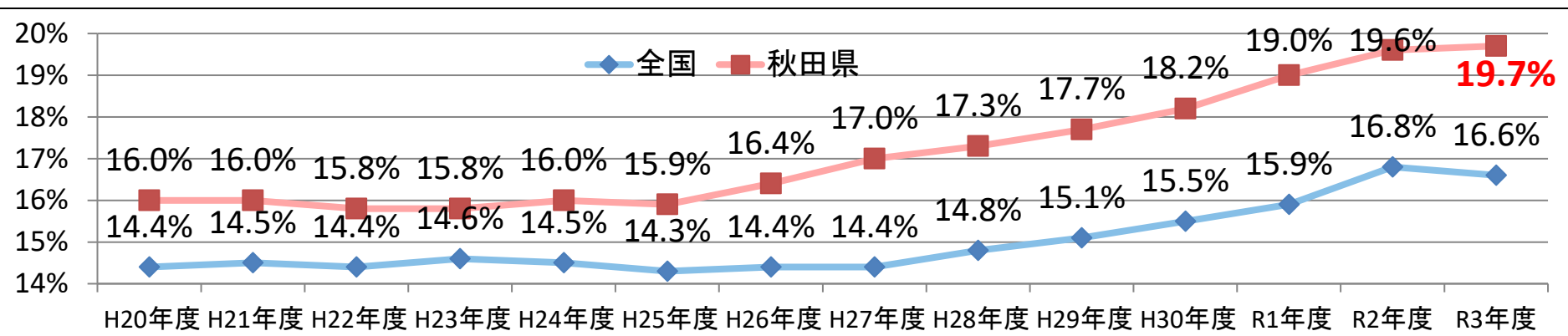
めざせ健康寿命日本一!



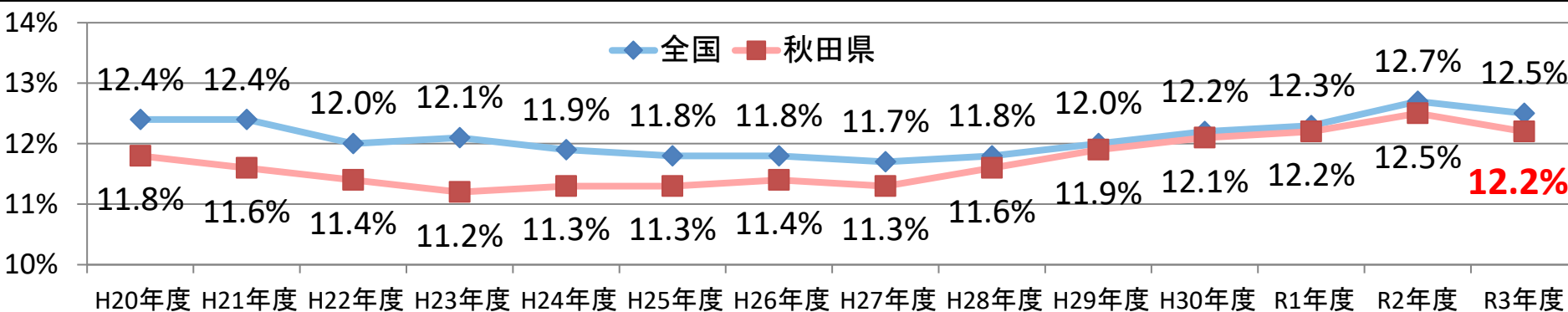
メタボリックシンドローム 該当者、予備群割合（H20年度～）



○ 該当者割合



○ 予備群割合



3 国の動向



めざせ健康寿命日本一!



自治体等における糖尿病性腎症重症化予防の取組を全国的に推進・強化

○平成28年3月

厚生労働省・日本医師会・日本糖尿病対策推進会議の
三者が連携協定締結

○平成28年4月

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定

○平成31年4月、令和6年3月

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの基本的な考え方



めざせ健康寿命日本一!

糖尿病について未治療者・治療中断者

医療機関への
受診勧奨



生活習慣の改善を
促す保健指導



糖尿病について治療中の者

医療機関等と連携して生活習慣
の改善や療養についての指導
(※)



※医療機関で糖尿病療養指導士等から療養指導を受けている人については、原則除外する。

- 生活習慣の改善
- 良好な血糖コントロールの維持
- 合併症の発症・進展の予防 など



- 腎不全、人工透析への移行を予防
- 健康寿命の延伸

国民健康保険の保険者努力支援制度



めざせ健康寿命日本一!

保険者（市町村、都道府県）における医療費適正化に向けた取組等を評価する指標を設定

⇒ 達成状況に応じて保険者に交付金を交付する制度



市町村や都道府県における糖尿病重症化予防の取組も評価の対象

【評価指標例】

- ・ かかりつけ医と連携した取組の実施
- ・ 糖尿病対策推進会議等との連携 など

4 秋田県の課題と取組



めざせ健康寿命日本一!

秋田県における課題



○特定健診実施率は全国平均を下回っている

・・・健康状態未把握者が多い

→特定健診実施率の向上

○糖尿病や腎不全にかかる医療費、レセプト件数が
増加傾向

○糖尿病や腎不全による粗死亡率が高い

→糖尿病の重症化予防・透析予防が重要

取組① 特定健診実施率の向上



めざせ健康寿命日本一！

生活習慣病の早期発見・早期治療のために定期受診が必要であることを様々な媒体を通してPR

○ウェブサイト特設ページ

「いまこそ健（検）診！」ロゴマーク



ウェブサイト「秋田健」内に『健（検）診のススメ』特設ページを開設。

○周知チラシ



○メディアの活用

～「秋田健康応援大使」出演のテレビCM～



～Go To健（検）診！ テレビCM～



「声かけあって、みんなで受診！」 健（検）診受診勧奨事業



めざせ健康寿命日本一！

- ・ 受診勧奨ポスターの作成（右図）
- ・ かかりつけ医からの**未受診者**への
受診勧奨
- ・ がん対策推進企業等連携協定締結
企業から県民への受診呼びかけ

いまこそ！
健（検）診
あなたと大切な人のために
健（検）診を受けましょう



“生活習慣病”のリスクをチェックするために！
特定健診・後期高齢者健診

通院中の方も **年に1度 受診！**

対象年齢 特定健診：40～74歳
後期高齢者健診：75歳以上

＜特定健診・後期高齢者健診の主な内容＞

身体測定
 血液検査
 血圧測定
 尿検査

特定健診・後期高齢者健診はお住まいの市町村以外（秋田県内）の医療機関でも受けられます。
※具体的な医療機関はお住まいの市町村へお問い合わせください。

“がん”の早期発見・早期治療のために！
がん検診

対象になる検診を受診！

肺
40歳以上
(年に1回)

胃
50歳以上
(2年に1回)
※胃癌リスクが高い方は1年に1回

大腸
40歳以上
(年に1回)

乳房
40歳以上
(2年に1回)

子宮頸部
20歳以上
(2年に1回)

※がん検診の受診にかかる費用に対し、助成が受けられる場合があります。

“むし歯”や“歯周病”予防のために！
歯科健（検）診

少なくとも **年に1度 受診！**

＜歯科健（検）診の主な内容＞

問診
 □腔内診査
 歯科保健指導
 □腔機能検査
※嚥下、咀嚼機能検査

こんな症状ありませんか？

- ・ 固い食べものが噛めない
- ・ むせる、食べこぼす
- ・ お口が渾く、ニオイが気になる

お口のささいな衰えが気になったらこちらをチェック！

“薬”や“健康”のことを何でも相談できる！
かかりつけ薬局・薬剤師

**“かかりつけ薬局”
“かかりつけ薬剤師”
を決めることをおすすめします！**

✓ **ステップ1**
かかりつけ薬局を1つ決めよう！

✓ **ステップ2**
かかりつけ薬剤師を探そう！

かかりつけ薬剤師は
薬局での簡単な手続きで持つことができます。

…健（検）診に関する問合せは…

※ 国民健康保険・後期高齢者医療保険にご加入の方：お住まいの市町村へ
※ お勤めの方（被扶養者を含む）：職場の担当者またはお住まいの市町村へ

特定健診・がん検診に関する情報はこちらをチェック！



めざせ健康寿命日本一!

取組② 糖尿病重症化予防

県民の意識向上

- ・ 糖尿病のリスクの高い方への市町村による保健指導等

支援体制の整備

- ・ 秋田県糖尿病重症化予防モデルプログラムの見直し・普及
- ・ 県や保健所単位の会議の開催

専門職の資質向上

- ・ 保健指導を実施する保健師・管理栄養士等と保健指導の依頼を行う医師との顔の見える関係づくりを目的とした研修会の開催
- ・ かかりつけ医を対象とした研修会の開催
- ・ 糖尿病療養指導士を対象とした研修会の開催経費の一部負担

眼科・歯科受診を促すための 啓発ちらし



めざせ健康寿命日本一!

- ・ R 5 年度に作成
- ・ 医療機関等に配布し、
糖尿病で治療中の患者
さんへの啓発に活用

糖尿病に合併しやすい病気があります!

糖尿病網膜症

高血糖が続くと網膜の毛細血管に障害が起きます。進行すれば失明の原因になります。末期になるまで自覚症状はほとんどありませんから、定期的な眼底検査がとても重要です。

歯周病

高血糖が続くと歯周組織の血管がもろくなります。これを放置すると歯周病が進行しやすく、歯を支えている骨（歯槽骨）がなくなり、歯を失う原因となります。

※ R 6 年度
同様の内容で、
糖尿病連携手帳に挟めるよう
サイズを小さくして作成

糖尿病重症化予防対策の課題



- 多くの地域で「関係機関間の連携」が課題となっている。
⇒ 各地域において、「関係機関間の連携」に焦点を当て、具体的な対応策を検討し、実行する。

【保健所単位の取組】（R 6 年度取組予定）

- ・ 情報交換会
- ・ リーフレットの作成
- ・ アンケート調査

R 2 年度：関係機関間で抱えている課題等の整理

R 3 年度：課題解決のための具体的な対応策の検討

R 4 年度～：地域における課題解決のための具体的な対応策の検討、取組の実行

関係機関間の連携の方向性



なぜ健康寿命日本一！

連携における望ましい姿（イメージ）

市町村等の取組支援

県（保健所）

県糖尿病対策推進会議

県医師会

県歯科医師会

県薬剤師会

国保連合会

かかりつけ
薬剤師・薬局

- 服薬管理・指導

保険者
（市町村等）

- 生活習慣改善のための保健指導
- 未治療者・治療中断者の受診勧奨

専門医

- 専門的な検査・治療

かかりつけ
歯科医

- 歯周病検査・治療、歯科疾患管理

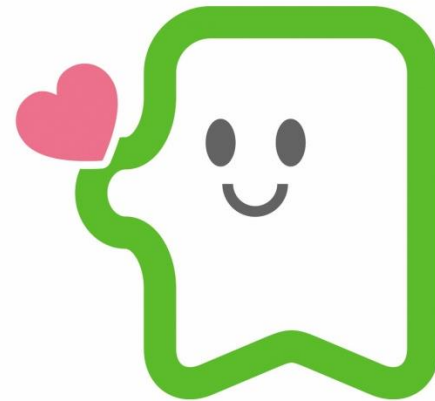
対象者

かかりつけ医

- 検査・治療、医学的管理
- 市町村への保健指導依頼

- ・対象者の情報を共有することで、適正な支援を行うことができる
- ・かかりつけ医→専門医、かかりつけ歯科医→かかりつけ医など、必要な関係機関へつなぐ

5 秋田県糖尿病重症化予防 モデルプログラム



めざせ健康寿命日本一!

秋田県糖尿病重症化予防 モデルプログラム策定までの流れ



○平成28年4月

国の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定

○平成28年8月～平成29年3月

本県のモデルプログラム策定のための検討会を開催

○平成29年3月

秋田県医師会、秋田県糖尿病対策推進会議、秋田県の三者連
名で秋田県糖尿病重症化予防モデルプログラムを策定

○平成29年4月

秋田県医師会の郡市医師会長会議にて説明

糖尿病重症化予防 モデルプログラム（概要）



プログラム概要

- 糖尿病・慢性腎臓病の未治療者、治療中断者に対して、市町村等が医療機関への**受診勧奨**を行う。
- かかりつけ医からの依頼があった場合、糖尿病患者に対して市町村等が**保健指導**を行う。
- 専門医受診の対象
 - ・糖尿病性腎症 4 期、CKD分類G4以上
 - ・**eGFR30以上45未満でも、年間低下が5 ml/min/1.73m²以上の急速進行例**

R4度の改正で、新たに追加しました！

糖尿病重症化予防モデルプログラム (位置づけ)



位置づけ

- 位置づけ：市町村及び後期高齢者医療広域連合（以下「市町村等」という。）が実施する上での参考プログラム
- 対象範囲：市町村国保・後期高齢者医療被保険者

- ・国の方向性に添って、本県でも先んじて市町村国保及び広域連合の取組を推進する。
- ・県のモデルプログラムを参考に、市町村単位でプログラムを策定しているため、市町村により対象者や実施方法等の内容が異なる場合があることにご留意ください。

国のプログラムとの違い



めざせ健康寿命日本一!

●国：

糖尿病性腎症の重症化予防を目的とする。

●秋田県：

糖尿病の重症化予防（腎症のほか、網膜症、神経障害を含む）と透析予防（糖尿病以外の原因による腎機能低下も対象）を目的とする。

糖尿病重症化予防モデルプログラム (未治療者の受診勧奨①)



対象者の抽出基準

保険者が特定健診データから、次の者を抽出した上で、レセプトデータを照合し、直近6カ月以内に糖尿病（抽出条件bについては慢性腎臓病を含む）で受診した記録のない者

【健診データ抽出条件】

- a
 - ・尿蛋白（+）以上かつ空腹時血糖126mg/dl（随時血糖200mg/dl）以上
 - ・尿蛋白（+）以上かつHbA1c 6.5%以上
- b eGFR 45ml / 分 / 1.73m²未満
(60歳未満の者については、eGFR 60ml / 分 / 1.73m²未満の者についても受診勧奨することが望ましい。)

糖尿病重症化予防モデルプログラム (未治療者の受診勧奨②)



受診勧奨の方法

- 原則として個別面談による受診勧奨を行う。
- 将来の人工透析のリスクなど、医療機関での適正な治療を受ける必要性や生活習慣の改善の必要性などを説明する。
- 尿蛋白20以上、またはeGFR 30ml /分/1.73m²未満の者に対しては、専門的な医療機関への早期の受診を強く勧める。
- 初回受診勧奨の1～2か月後、電話で受診状況を確認し、未受診の場合は、面談等により再度、受診勧奨を行う。

糖尿病重症化予防モデルプログラム (治療中断者の受診勧奨)



対象者の抽出基準

保険者がレセプトデータから、過去2年前から1年前までの1年間に糖尿病での治療歴がある者で、最近6カ月以内に糖尿病で受診した記録のない者を抽出

※健診データがある場合は、健診結果による受診勧奨を優先

受診勧奨の方法

- 健診データが無い場合、糖尿病性腎症の病期やCKD重症度分類が判らないことから、電話や手紙による受診勧奨を行う。
- 初回受診勧奨の1～2か月後、電話で受診状況を確認し、未受診の場合は、面談等により再度、受診勧奨を行う。

糖尿病重症化予防モデルプログラム (治療中の患者の保健指導①)



めざせ健康寿命日本一!

対象者の抽出基準

- 糖尿病で治療中、尿アルブミン、尿蛋白、eGFR等により腎機能低下が判明し、保健指導が必要と医師が判断し、患者本人から保健指導プログラムへの参加について、同意があった者（糖尿病性腎症の病期が第3期、またはCKD重症度分類ステージがG3bの患者を優先する）。

●保健指導の必要性の判断基準

- ・治療を中断しがちな患者
- ・生活習慣改善が困難な患者
- ・管理栄養士等がいないため、自施設での実践的な指導が困難な場合
- ・専門的な医療機関との連携が困難な場合

●保健指導の対象除外者

- ・がん等で終末期にある患者
- ・認知機能障害がある患者
- ・糖尿病性腎症の病期が第4期またはCKD重症度分類がステージG4以上と思われる患者

糖尿病重症化予防モデルプログラム (治療中の患者の保健指導②)



めざせ健康寿命日本一!

保健指導の流れ

①プログラムの説明

かかりつけ医



②参加同意書の提出

③保健指導指示書の提出・助言

⑤情報共有

患者



保険者



④保健指導実施

糖尿病重症化予防モデルプログラム (治療中の患者の保健指導③)



めざせ健康寿命日本一!

保健指導の内容等

- 回数：6か月間で7回程度
- 方法：電話、面談など
- 内容：
 - ・健康状態の把握
 - ・糖尿病・CKD・生活習慣改善への理解度の確認
 - ・取組目標の設定と取組継続のための支援
 - ・取組の振り返り、取組継続のための助言等

【保健指導の活用例】

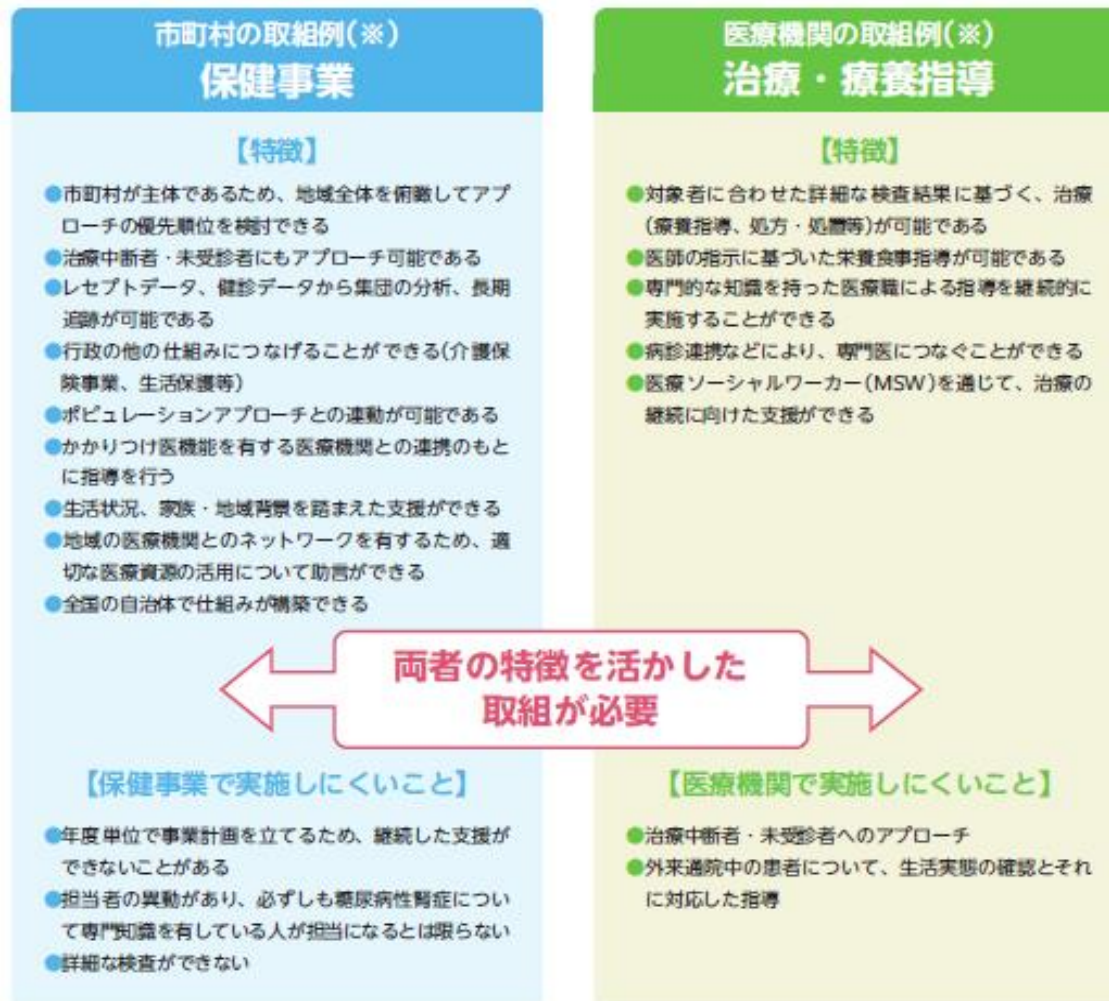
- ・自宅での生活状況等の確認が必要な場合
- ・医療機関での指導内容が自宅で継続できているかを確認
- ・医療機関において保健指導を行うことが難しい場合等

市町村が行う保健指導と 医療機関が行う療養指導の違い



めざせ健康寿命日本一！

イメージ



各市町村（国保）の取組状況 （R5年度）



未治療者の受診勧奨 24市町村で実施（R4：23市町村）

受診勧奨により医療機関につながった者の率：58.0%

治療中断者の受診勧奨 20市町村で実施（R4：18市町村）

受診勧奨により医療機関につながった者の率：34.9%

治療中の患者の保健指導

- ・医師から依頼を受けて実施した市町村数：4（8名に実施）
- ・市町村で対象者を抽出し、医師及び患者にアプローチして実施した市町村数：4（13名に実施）

※R4：医師から依頼 6市町村(12名)、市町村のアプローチ 4市町村(12名)

先生方をお願いしたいこと



めざせ健康寿命日本一！

特定健診実施率向上 . . . 「声かけあって、みんなで受診！」健（検）診受診促進事業、診療情報提供にご協をお願ひします。

未治療者・治療中断者の受診勧奨 . . . 受診勧奨後、患者さんが受診した際は、ご対応よろしくお願ひします。

治療中の患者の保健指導 . . . 必要な患者さんに保健指導を勧めていただくとともに、市町村等へのご連絡をお願ひします。

※保健指導指示依頼書の作成にあたり、手数料等の費用負担はかかりつけ医、市町村等の双方に求めないものであることをご了承ください。

ご清聴ありがとうございました



めざせ健康寿命日本一!